

競技上及び審判上の注意事項

本大会は、公認野球規則、及び全軟連規定を適用。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは、組合せ番号の若い順を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
2. 試合時間は6回戦1時間20分とする。(プレイボールの後に、両チームへ必ず開始時間を伝えることとする)

時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は(先攻チームが勝っている時)、裏の攻撃までやることとする。裏の攻撃で(後攻チームが勝っている時)時間が来た時は、アウトカウントに關係なくその打者で終了することを、球審は宣告しなければならない。

3. 参加資格は、5年生以下で編成したチームで大会前に東京都軟式野球連盟・杉並区軟式野球連盟に登録のあるチームとする。尚、補強は認めない。ただし、単独で編成できないチームは、合同チームによる参加を認める。不正出場その他規則違反に対しては、杉並区軟式野球連盟規約により処理する。
4. 延長戦は行わず、試合時間を超えて同点の場合は抽選とし、試合時間内に6回が終了し同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は1イニングとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝負を決定する。特別方式はノーアウト1・2塁、継続打順で行う。
5. 得点差によるコールドゲームは3回終了時10点差、4回終了以降7点差、及び降雨、日没により4回以降続行不可能となった時とする。正式試合の成立は4回完了時とする。
6. 投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
7. 準々決勝以降については、投手の投球制限を70球までとする。

但し、①投球を完了したボールの場合は投球数に入る。②打者途中で70球に達した場合はその打者が終了するまで投げることが出来る。

8. ボークについては1回目から適用する。
9. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク(SGマーク付)、ヘルメットを着用の事。ハイコンバットを含むすべての用具は、JSBBのマークの入ったものを使用する事。(木製バットは使用可。)

一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。

10. 抗議の出来る者は監督、当該プレイヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
11. 選手交替の際は必ず監督が球審に申し出る事。
12. 自チーム、相手チームに対する品位のない言動に充分注意する事。
また、投手が投球モーションに入ったら大きな声を出さない事。
13. 開始予定時間30分前に大会本部にメンバー表3枚を提出し、検印を受けた後、1枚をチーム控えとして返却する(残りの2枚は、対戦チーム用と本部用とする)。試合予定時間30分前に大会本部へメンバー表を提出されなかった場合、または試合開始予定時間に集合しないチームは不戦敗とする。
14. 試合中は、監督に限りグランドに出て指示する事が出来る。監督及びコーチは、グランド内でグラブの使用を禁止とする。保護者はグランドに入れない。

15. 背番号は選手0～99（主将10）の25名以内、監督30、コーチ29、28番、登録は男女問わない。
 16. ベンチ入りは代表者、監督、コーチ2名、スコアラー（チーム帽子着用）、健康管理者2名以内（チーム帽子着用）、計7名以内と登録選手25名までとする。
ベンチ入りする代表者、監督、コーチのうち1名が指導者資格を保有していること。
ベンチ入り登録選手25名を超える場合は、本部、球審、相手チームの許可を得て入ることが出来る。
但し、メンバー表（25名まで）以外の選手はプレーには参加出来ない。
 17. グランドルールは担当審判員の指示に従う。
 18. メガホンの使用は禁止とする。
 19. 使用球はケンコーボールJ号とする。
 20. 墓間は23m、本投間は16mとする。
 21. 自チームで出したゴミは、必ず持ち帰りください。
 22. 試合中、または球場への往復の事故について主催者側は、一切責任は持ちませんのでご注意の上参加ください。
 23. 各チーム、大会会場に来られましたら、「AED」の設置場所を確認ください。

A horizontal row of 20 black five-pointed stars, evenly spaced, used as a decorative element.

公式野球大会注意事項

- (1) 6回戦とし1時間20分を超えて、新しいイニングに入らない。
 - (2) 試合開始時間については、大会本部もしくは、各面の責任審判員が管理し、両チームに試合開始時間を通告することとします。
 - (3) 試合制限時間に達した時は、球審が両チームに通告いたします。

【ケース1】[Aがリードの4回表に1時間20分が経過した場合]

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	2	3	2	■			7
B	3	2	1				6

※4回裏の攻撃まで行う。(正式試合の5回均等回完了以前に時間制限に到達したため。)

【ケース2】[Bがリードの5回裏の攻撃中に1時間20分が経過した場合]

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	0	2	0	1		3
B	0	0	2	2	■		4

※ 1時間20分を超えた時点で試合終了となるが、球審はその時の打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。